

## 要 旨

### 試験委託者

環境庁

### 表 題

フタル酸ジ-n-ヘプチルのオオミジンコ (*Daphnia magna*)に対する繁殖阻害試験

### 試験番号

PRO/N03/0301

### 試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No.202「ミジンコ類、急性遊泳阻害試験および繁殖試験」(1984年)に準拠して実施した。

- 1)被験物質： フタル酸ジ-n-ヘプチル
- 2)暴露方法： 半止水式(週に3回、試験液の全量を交換)
- 3)供試生物： オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4)暴露期間： 21日間
- 5)連数： 1濃度区につき4連
- 6)生物数： 40頭/1濃度区(1連につき10頭で1濃度区40頭)
- 7)試験濃度： 対照区、助剤対照区(0.62 mg/L)、0.06、0.11、0.19、0.34  
および0.62 mg/L(設定濃度)(公比:1.8)
- 8)試験液量： 400 mL
- 9)照明： 16時間明/8時間暗
- 10)試験水温： 20±1℃

### 結 果

- 1) 21日間の親ミジンコの50%致死濃度(LC50)  
= 0.07 mg/L (95%信頼区間: 0.05 mg/L~0.09 mg/L)

[有意水準5%、統計的手法: Probit法 吉岡義正教授]

- 2) 21日間の50%繁殖阻害濃度(ErC50)  
= 0.20 mg/L (95%信頼区間: 0.19 mg/L~0.21 mg/L)

[有意水準5%、統計的手法: Probit法 Yukms 統計ライブラリーII 生物検定編]

**訂正**

- 3) 対照区と有意差の認められない最高濃度(最大無作用濃度 NOECr) = ~~0.07~~ mg/L  
0.04

- 4) 対照区と有意差の認められる最低濃度(最小作用濃度 LOECr) = ~~0.13~~ mg/L  
0.07

[3)、4): 有意水準5%、統計的手法: F&t-test Yukms 統計ライブラリーI 統計解析編]

(上記濃度は、全て実測濃度の時間加重平均値に基づく値)